



受け継がれる妙技

～布袋台からくり奉納の練習～

秋の高山祭を前に、布袋台からくり奉納の初練習が10月4日、下一之町でありました。

36本の絹の綱を操る9人の綾方は、お囃子に合わせながら男女2体の唐子と布袋人形の動作を確認しました。

今回から初めて綾方に加わった小学1年生の伊東^{いとう}祿永^{ろくえい}さんは唐子の頭を動かす役。「(綱を握りしめて)手が痛かったけどがんばりました」と笑顔で話しました。

祿永さんの父も綾方。妙技が受け継がれた瞬間です。